



# 留学交換 高校生の日本人観

トリンガム・アンソニー (東町)

ニュージーランドからやってきた彼(17歳)は、ロータリークラブの皆さんのお世話で、会員の方々の自宅を順にまわり(現在は東町の川島君さん宅同居)、日本の生活様式を研究しながら

成東高校へ通学しています。この文は、県内にいる交換留学生の日本語演説会での同君の草稿ですが、外国人の見た日本人観として興味深く読みとれます。

先日私は学校からの帰路、友達に質問しました。

「ニュージーランドについて知っていることを言ってみよう」

「ええとね、島が二つあって、首都はオークランド、いやウェリントン、農業が第一の産業で、キーウィやエグモンドという山があつて、羊がいっぱいいるんだらう」

「じゃあ、ニュージーランド人の性格をどう思う？」

「そうだね、アンソニーみたいな人がいるんじゃないかなあ」

「俺のことは別にして、どういうふう

に思っている？」  
「アメリカ人みたいなじゃないかなあ」

私はここで質問をやめました。日本人はこの友達ばかりでなく、ニュージーランドについて、あまり知っていません。つまり、昔の中学

校の英語教科書に書いてあった程度しか情報を持っていません。これではちよつとひどいじゃないかと私は思いました。

## 日本人は、「神風」「裏切り」

けれども、ニュージーランド人の日本についての知識と比べ、日本人を責められないと考えるおもしろい。

ニュージーランド人に、「日本について何か知っているか？」と聞いたら、たぶんこんな答えが返ってくると思えます。

「神風！」  
第2次世界大戦の時の神風の

## お互いにある誤解や偏見

私は、日本の学校へ入学したばかりのころ、生徒が学校の清掃をするのを見て、ニュージーランドではそんなことは全然ありませんから、

「すごい、偉い人たちだ」とびっくりしてしまいました。けれども男子はあまり熱心にしないことも、だんだんわかってきました。

日本の学校はあまりお金がないので、学生を使わなければな

話は、日常の会話や冗談にもよく出てくるからです。

日本人はよく自殺する国民だと思われています。試験に失敗するとすごく恥ずかしく思つて火山に飛び込む人がいるとか、私たちには考えられません。

次に、「裏切り」。

私がよく読まれた本に「將軍」があります。映画化されてニュージーランドでも上映され、私も見ました。この映画には味方を裏切る場面が強く出ていました。私たちはこんな情報から日本人は自殺をしたり、裏切つたりをよくする変な人間だなあと思つていました。

このように情報が少ないため、誤解や偏見が生まれるのではないのでしょうか。

私は日本に来る前、知り合いの人から、

「日本人は礼儀正しく親切で、とてもきれいな好き」と聞かされてきました。

また、「治安が良くて暴力も少なく、泥棒もあまりいない」とも聞かされてきました。

「日本の学生はいつも静かです。先生の言うことをよく聞き、姿勢も良く、一生懸命勉強するすばらしい学生だ」と、よく話してくれました。

だから、日本人の日本語の先生が私たちの学校に来ると、私たちはすごく行儀をよくしました。日本人の学生と比べられても、いいように、無理してそうしたのです。

切れないことがわかりました。日本人も本質的には他の国民と違っていないと私は思うようになりました。

日本人が他の国民とすごく違つていると思うのは、言語と生活習慣の違いを表面的に見ているからだ実感するようになったのです。

